



広報

# たけし 市民の友

第632号 毎月1回発行  
2003年(平成15年)

9月

発行●那覇市 編集●秘書広報課  
〒900-8585 那覇市泉崎1丁目1番1号  
☎ 867-0111 ●印刷(協)丸正印刷

市の人口と世帯	
*( )内はうち外国人	
2003(平成15)年7月末現在	
総人口	309,235(1,889)
男	149,520( 952)
女	159,715( 937)
世帯数	121,731(1,115)
住民基本台帳人口の内訳(外国人を除く)	
本庁	88,180
真和志	105,602
首里	58,674
小緑	54,890



## 黄色いハンカチは SOS のサイン

合図が見えたら  
手をかしてね

新しい交通機関「ゆいレール」が8月から開通し、多くの市民が15駅周辺を行き交っています。  
ゆいレールの車両にはエシペーターやエスカレーター、身障者用点字ブロック、車いす対応改札口、福祉トイレ、車いす乗降装置などが設置されています。

市内ではこうしたバリアフリーのハード面が増えてきています。一方、ソフト面はそばにいる私たちの出番です。助けを必要な方たちが手をさしたすのです。

全国的に「黄色いハンカチ運動」が広がっています。この運動の目的は「黄色いハンカチ」を全国共通のサインにすることです。

先ごろ、市の「地域福祉基金事業補助金」を活用して「ちいさな手の会」がこの運動を市内でスタートさせました。県内では初の試みです。

会ではその第一歩として、ハンカチの手染め作業を行いました。障害を持つ、会のメンバーによって、白いハンカチが染料で黄色く染められ、干して乾かしたあと、一枚一枚アイロンで丁寧にしわをのばし、氏名、住所、緊急連絡先、指定病院、血液型などを書き込む欄がプリントされています。

会では、黄色いハンカチ製作を障害者の就労支援に活用することも視野にいれているようです。

まちでSOSの黄色いハンカチに出会ったら、心のバリアフリーでしっかりと受けとめたいものです。

※「小さな手の会」(0909-3102)

### 主な紙面

- (2面) 花の植栽で環境美化を促進
- (3面) ゆいレール開通おめでとう
- (4面・5面) いつまでも
- お元気でがんばってますね
- (6面) 平成14年度・那覇市の財政
- (7面) 情報PACK

## 市長談 TAIDAN ⑥



こじょう ひでとも  
**湖城 英知**  
(沖縄都市モノレール(株)代表取締役社長)  
昭和9年名護市生まれ。日本大学法学部卒。昭和33年(株)沖縄相互銀行(当時)に入行。(株)沖縄海邦銀行(行名変更)代表取締役専務、頭取を経て平成13年から代表取締役会長。平成15年6月に現職就任。

翁長雄志市長 6月に沖縄都市モノレールの社長就任をお願いされ、開業まで忙しい毎日をお過ごしだと思いましたが、社長になられてのお気持ちをお聞かせください。

湖城英知さん 就任後は15駅に開業の方々と接することで、地域発展を望む声と市民県民の長い夢が発進するのだという思いを共感することができました。

市民、行政、モノレール(株)が一体となったまちづくりができるという、私自身、やる気満々といった感じでした。

市長 私も屋上緑化を推進することで環境をしっかりと整え、観光への起爆剤になればと、できれば来年はベランダ緑化への助成ができればと考えています。市の花であるブーゲンビリアなどを栽培していただけたらいいですね。

湖城 市長が屋上緑化を推進したおかげでも効果的に広がっています。今後とも屋上緑化には力を入れていただきたいと思えます。

市長 特にモノレールに乗って感じたことが、お年よりや身体の不自由な方の利用者が多いということですね。

湖城 最高の設備だと全国の関係者の方々から評価を受けて

### 駅前模合で元気なまちに

市長 行政としては、自転車通勤などの駐輪所の充実、歩いて利用しやすい歩道の整備、あるいはワンコインバスといった、お客さんに乗せて駅まで送り届けるシステムづくりなど、きめ細やかなバス路線の開発など、採算が取れるように考えていきたいと思えます。

湖城 私の友人が「駅ごとに模合をしよう」といまして、今月は美栄橋、来月は牧志という具合で、駅周辺の店を利用して模合をすると言うのです。15駅ありますから1年では回れないですよ！(笑)

市長 民間からきた湖城社長によって、モノレールの開業を祝う市民のムードが一挙に盛り上がったのではないかと思います。今後とも湖城社長ならではのアイデアを私たちも応援していきたいと思えます。



本紙は「カラーバリアフリー」につとめています。お気づきの点がありましたらお寄せください。(秘書広報課 ☎862-9942)